

各位

2014年3月6日

積水ハウス株式会社

代表取締役社長: 阿部 俊則 本社:大阪市北区大淀中1-1-88

鉄骨2階建の構法を統一し、高品質・高性能を標準化 全ての住宅を、「より強く、明るい住まいへ」 新・ISシリーズ、新・Beシリーズに再編

積水ハウス株式会社は、2014年3月より、鉄骨2階建住宅の構法を統一し、大幅な再編を実施します。 商品も「新・ISシリーズ」と「新・Beシリーズ」に再編します。

お客様のメリットとして、全商品に「SLOW & SMART」の技術を搭載でき、高品質・高性能な住まいが身近になります。構法を、設計の自由度を高め最新技術に対応するNewBシステムによる「進化したユニバーサルフレームシステム」に統一することで、耐震性と制震性を強化しながら「スローリビング」をはじめとした大空間や大開口設計とを両立させることができます。

また、外壁のメンテナンスサイクル30年、開口部の高断熱化、居室の化学物質低減仕様など、重要な 基本性能において高品質と高性能を標準化します。

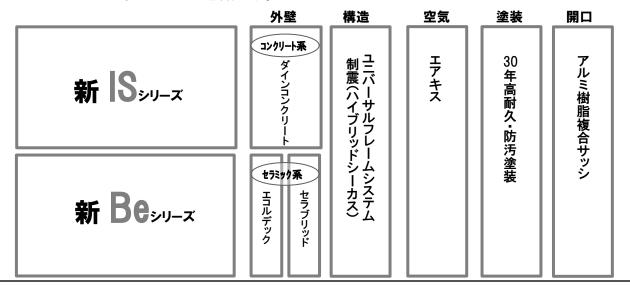
同時に、従来3シリーズ10商品だったものを大きく2シリーズに再編し、構法をNewBシステムに統一することなどで、約400万点あった部材を約250万点に大幅削減でき、生産・設計・施工効率も改善されます。

これらにより、全てのお客様に「より強く、明るい住まい」を提供しやすくなりました。

我が国の厳しい季節変化や数多くの自然災害に耐え、いつまでも末長く「安全・安心・快適」な暮らしを提供するために、積水ハウスは、今回の高品質・高性能の標準化に踏み切りました。

これまでも積極的に提案している環境配慮型住宅「グリーンファースト」を更に推し進め、国が2020年までに標準化を目指す「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」の普及を加速させていきます。

当社はこれまでも戸建住宅のリーディングカンパニーとして、耐震性能や環境性能において時代を 先取りしトップランナーとして標準化してきました。今回の標準化で更に一歩、業界をリードし、日本の住 宅のスタンダードを引き上げていく所存です。



SLOW & SMART ゆっくり生きてゆく、住まいの先連技術。

本件に関するお問合せ
積水ハウス株式会社 広報部

ECO 1 FIRST

①構法をNewBシステムによる「進化したユニバーサルフレームシステム」に統一

鉄骨戸建住宅の構法「ユニバーサルフレームシステム」は、初代B型で採用されて以降、時代を先取りしながら様々な改良を重ねてまいりました。2010年の創業50周年記念モデル「Be Sai+e(ビーサイエ)」から採用されたNewBシステムでは、それまでの構法に比べて大空間や大開口の設計が可能になりました。

このNewBシステムの部材は、静岡工場に加え、関東工場にもロボットラインを設けたことにより量産体制が整いました。これにより全物件をNewBシステムに切り替えることにいたしました。ロボット生産により、自由設計でありながら、高い構造強度を確保するため適材適所の多品種生産を容易にし、より安定した製品供給を実現させるとともに、生産コストの低減を図り効率を高めてまいります。



ユニバーサルフレームシステム(イメージ)

②「ハイブリッドシーカス」の導入によるスローリビングの提案力強化

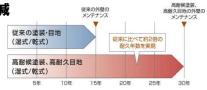
NewBシステムでは、耐力壁と制震壁を重ねることができる「ハイブリッドシーカス」の搭載が可能です。耐震性と制震性を保ちつつ大きな開口部を設けることも可能となり、「スローリビング」をはじめとした心地よい空間提案が促進されます。また都市部の法規制が厳しい敷地においては、採光の確保がしやすくなるなどのメリットもあります。



スローリビング例

③塗装・目地を30年高耐候・高耐久仕様に統一しメンテナンスコストを削減

外壁はセルフクリーニング機能をもつ防汚仕様の高耐候塗装に、目地も湿式乾式を問わず耐久性を高めることで、メンテナンスサイクルを30年間とした「タフクリアー30」に統一しました。これにより、外壁メンテナンスコストの大幅削減を実現しました。



メンテナンス時期の目安

④アルミ樹脂複合サッシとアルゴンガス入り複層ガラスを標準化

開口部の断熱性向上の為に一部で採用していた、アルミ樹脂複合 サッシとアルゴンガス入り複層ガラスを標準採用します。

一般的な乾燥空気層の複層ガラスと比べて、アルゴンガス入りの複層ガラスは、約20%断熱性能が向上します。

これにより、大開口を設けた居室の快適性が更に向上し、「グリーンファーストゼロ」の提案推進にもつながります。



アルミ樹脂複合サッシとアルゴンガス入り複層ガラス

■5つの化学物質の室内濃度は、国の指針値の1/2以下

⑤居室の特定化学物質濃度を厚生労働省指針値の1/2以下にする「エアキス仕様」を標準化

当社では、5つの化学物質(ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレン)の濃度を厚生労働省の指針値の1/2以下にするよう自主基準を設定しています。この基準を満たしたものを「エアキス仕様」として、鉄骨戸建住宅の標準仕様といたしました。大人と比べ、体重当たりの空気摂取量が約2倍であり空気中の化学物質の影響を受けやすい子どものための基準と言えます。

当社では2007年から提案を開始し、2011年から鉄骨戸建住宅で「エアキス仕様」を設定。昨年からは賃貸住宅シャーメゾンやサービス付き高齢者向け住宅「セレブリオ」でも商品に合わせて採用を始めています。

積水ハウスでは、これらの「SLOW & SMART」の技術の積極提案と高品質・高性能の標準化によって、全てのお客様に「より強く、明るい住まい」の提供を推進してまいります。